

自治労きよと

11/11
2002
第425号

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩明
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@po.media-net.ne.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/



02秋季闘争学習会

11月22日 全国統一行動へ取り組み強化

工夫と粘りで賃金水準改善を

▲確定闘争の課題を説明する
本部労働局の上林氏

府本部は十月二十九日、不利益不遡及問題など人動の問題点と確定闘争の課題を中心に、「02秋季闘争学習会」をばるる。講師には自治労労働局の上林陽治氏を迎え、十五組、四十人が参加した。

上林氏は、報告について「公務員賃金を下げるといって小泉内閣の政治的意図に人事院が屈服したもので不透明な部分が多い。減額調整措置は限りなく不利益を及ぼす。一時金が廃止となることにより、来年度以降は一層問題となる。自治労は十一月二十二日に全国統一行動を実施し取り組みを強めるとした。また、人事院が提起している地域給与の抜本的な見直しが大きな課題となることや、退職手当の見直しも来年度の通常国会で法改正されようとしていることを説明した。

確定闘争の取り組みについては、減額調整措置が実施された場合、人件費が余ることとなる。具体的賃金水準の改善に向けて昇格制度や運用の改善、職場改善の取り組みなど、工夫と粘り強い取り組みが重要だと提起された。

機能強化と単組間支援を柱に

JI-UP 京都第4回総会 埋文研労組迎え決意新た

自治労京都府法適用組合協議会(JI-UP 京都)は第四回総会を十月十六日、レストランおたやで開いた。

開会にあたり、総会議長に横代議員(京響音楽家労組)を、副議長に藤岡英之協議会議長がこの一年間の活動、次年度の活動方針などを交えたあいさつを行い、府本部から木村幹雄委員長があいさつを受けた。続いて「02年度経過と展望」の承認後、「03年度運動方針」を承認し、その報告も行われる予定だったが、十一月二十日可決。運動方針では協

2単組、1支部が自治労加盟

ハーモニーこが労組、友々苑M・P・W労組、洛王セレモニー支部



▲ハーモニーこが労組の仲間 (10月16日結成大会で)

十月二十六日には京都市東山区の葬祭業・洛王セレモニーで労働組合が誕生、京都公共サービスユニオンに加盟し支部として活動する。当面、懲戒処分撤回と職場の改善に向けて団体交渉要求などの闘いを進める。

自治労に相次いで公共サービスの仲間が加盟した。老人保健施設に働く「ハーモニーこが労働組合」「友々苑M・P・W労組」の二単組と、公共サービスユニオンに加盟した葬祭業の洛王セレモニー支部。公共サービス労働者の待遇改善へ自治労の役割は益々大きくなっている。

十月十六日、京都市伏見区久我にある介護老人保健施設で「ハーモニーこが労働組合」が誕生、自治労加盟を決定した。現在、組合員は二十人で、引き続き対象者全員の加盟をめざすと、関係施設全体の組合結集を展望し活動を始めた。自治労の諸集会にも参加し、府本部や全国の仲間との交流を深める決意だ。

公共サービス労働者の結集と連帯へ

市左京区静原の老人保健施設の「友々苑M・P・W労組」(二十四人)が臨時大会で自治労加盟を決定。Moral(道徳)を掲げて、働く者が正当に評価される職場環境づくりをめざす。

今回、自治労加盟を決めた三事業所は連合京都回執行委員会加盟の承認の労働相談がきっかけ。認・確認を行った。

お詫び

11月4日、京都新聞朝刊で報道されました記事について、すべての構成組織・組合員の皆さんにご迷惑をおかけしたことに心からお詫び致します。記事に掲載の、①政治団体「きよと連合」が京都府選挙管理委員会に提出した政治資金収支報告が収入・支出ともに虚偽であった、②とりわけ収入の内、個人寄附は架空であり、その内多数の個人が所得控除により税の還付を受けていた、という点は事実であり、全く弁解の余地はありません。連合京都は過日、京都新聞から取材を受けて関係者から事情聴取の結果、不正行為が行われていたとの結論を得て、現会計責任者の責任年限について、誤りを認め修正の手続きを行うことといたしました。社会正義を追求し、不正を正すべき労働組合「連合京都」で、一部とはいえ元幹部が連合京都への信頼を裏切る行為を行って、今後、速やかに調査委員会を設置し、この不正行為が行われるに至った経緯、役員等の関与等について全貌を明らかにし、二度とこのような不祥事がないよう対策を講ずる所存です。重ねて、すべての構成組織・組合員の皆さんに心からお詫び致します。

連合京都の政治団体に関する不祥事がマスコミで報道されたことについて、連合京都から構成組織・組合員にお詫びの文書が出された。府本部は六日の執行委員会で、組合員の信頼回復を図るため徹底した真相究明と二度とこのような不祥事が行われないうような対策を講ずるよう連合京都に求めると、内容を組合員に周知していくことを確認した。

政治団体「きよと連合」の虚偽報告について

北分断が、人間的な幸福と交流を阻む分厚い壁として立ち上がった。悲劇が、重い衝撃を言いつれぬ感動をもたらした。映画だった。「国家と個人」のテーマが北朝鮮による拉致事件を通して、いま日本社会に改めて突きつけられている。この拉致事件は国家による犯罪であり主権侵害である。したがって「旧の状態に復すること」が当面の課題として当然のことと議論されている。しかし当事者本人にとって、それが本心に願まじいことなのか、拉致という不当な強制力によるものか、二十数年の北朝鮮での生活と家族がある。そこで身につけた思想を「洗脳」の一言で片付けてはならない、北朝鮮の家族も日本に永住帰国すべきだ、という論調で一色味さを感じる。そして、かつて重国日本はむき出しの暴力で公然と強制連行という名の拉致を何万人単位で行った歴史的真実も忘れてはならない。

火災・風水害・地震
ワイドに保障します。

韓国映画
「ジュリー」
「SA」が大ヒットしたのも、二、三年前になる。国家と民族の南北分断が、人間的な幸福と交流を阻む分厚い壁として立ち上がった。悲劇が、重い衝撃を言いつれぬ感動をもたらした。映画だった。「国家と個人」のテーマが北朝鮮による拉致事件を通して、いま日本社会に改めて突きつけられている。この拉致事件は国家による犯罪であり主権侵害である。したがって「旧の状態に復すること」が当面の課題として当然のことと議論されている。しかし当事者本人にとって、それが本心に願まじいことなのか、拉致という不当な強制力によるものか、二十数年の北朝鮮での生活と家族がある。そこで身につけた思想を「洗脳」の一言で片付けてはならない、北朝鮮の家族も日本に永住帰国すべきだ、という論調で一色味さを感じる。そして、かつて重国日本はむき出しの暴力で公然と強制連行という名の拉致を何万人単位で行った歴史的真実も忘れてはならない。

火災共済+自然災害共済
自然災害保障付
火災共済
じちろう共済

